

2019年1月14日

あおぞら投信株式会社

## 「改革と 掛け声聞こえど 評論のみ

## 力を生むは 今までと異なり」

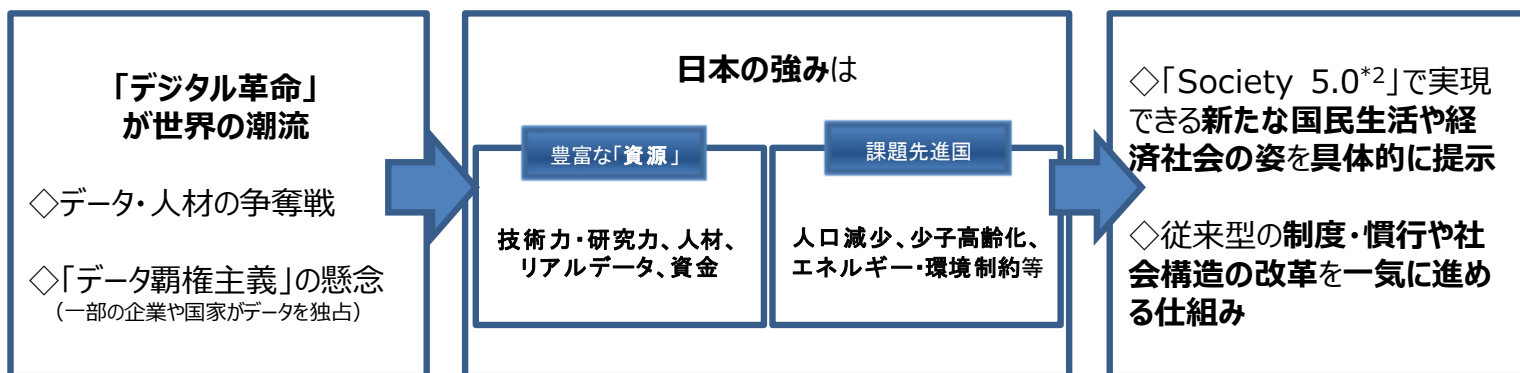
今後の日本経済を考えると、何をチャンスと捉えるのかがカギとなると思います。1955年(昭和30年)からの戦後高度成長モデルが終わってから、次のモデルを探して30年以上が経ちました。ここ数年間、成長戦略と唱えている人の解説は以下ようになります。

「日本は、人口減少、少子高齢化、エネルギー・環境制約など、様々な社会課題に直面する『課題先進国』。現場からの豊富なリアルデータによって、課題を精緻に『見える化』し、データと革新的技術の活用によって課題の解決を図り、新たな価値創造をもたらす大きなチャンスを迎えている。日本は、世界に先駆けて人口減少に直面することから、他国に比べ、失業問題といった社会的摩擦を引き起こすことなくAIやロボットなどの新技術を社会の中に取り込むことができるという点で優位な立ち位置にさえある。そのチャンスを現実のものにするためには、民間も行政も、過去の成功体験にとらわれた内向き志向や自前主義から180度転換し、既存の組織や産業の枠を越えて、技術と人材、データと現場の新たなマッチング等を通じたオープンイノベーション、社会変革を飛躍的に進めることが不可欠である。」

これからは解説で終わるのではなく、実行の時になるべきだと思います。そのためには、権限の考え方も変えていくことが必要でしょう。チャンスを捉えようとすれば、逆もあり得ること、すなわち失敗もあることを認める施策が求められるのです。世代や性別などの固定観念を壊していく時である今を生かせるかが、21世紀の日本における新たなモデルが生まれるかどうかの分岐点だと思います。その時には個性の持つ意味は大切であり、地域の特性もその一つだと考えます。既存の発想ではないことこそが価値を生むのだという自覚が必要なのです。

柳谷俊郎

### 未来投資戦略2018\*1の基本的な考え方



出所: 未来投資戦略2018及び各種報道を基にあおぞら投信が作成。

\*1 未来投資戦略2018 : 「Society 5.0」への変革をテーマに2018年6月15日に内閣府により閣議決定された戦略。

\*2 「Society 5.0」 : 仮想(サイバー)空間と現実(フィジカル)空間を高度に融合させたシステムにより経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号: あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第2771号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス: <http://www.aozora-im.co.jp/>